県立総合病院「小児新棟」の設計説明会

次第

日時： 令和 8 年 10 月 14 日（水）
第1部　13 時から 14 時まで
第2部　18 時から 19 時まで
場所： 県立総合病院（こども棟）1 階研修室

説明 （15分）：

1　小児新棟の整備状況について

2　小児新棟の設計について

ご意見・ご要望（45 分）：

小児新棟整備等について

令和８年（２０２６年）１０月１４日
県立総合病院病院整備推進室

１　施設整備の概要

（1）　小児新棟の機能

○　小児専門の外来

○　障害者歯科

○　地域（関係機関等）との連携のための空間

○　患者・家族の交流などのための多目的空間

（2）　整備における基本的な考え方

○　保健医療・福祉・教育を一体的に受けられる環境の向上

療育センター、守山養護学校と同一敷地内での連携を確保するとともに各施設が相互に機能を補完することにより、引き続き連携を発揮できるようにする

○　小児専門医療・小児保健サービスの充実・強化

小児病棟の移転や手術機能等の集約を予定している本館および放射線治療棟と隣接して小児新棟を整備することにより、小児患者に対する医療の充実を図る

○　地域に根ざした子どもから大人まで切れ目のない医療の提供

これまで培ってきた重症心身障害児･者への医療提供だけでなく、対象疾患の拡大や移行期医療などの患者ニーズへの対応、地域の病院や診療所等との連携強化により、小児の難治･慢性疾患に対する専門医療の拠点にふさわしい施設として整備する

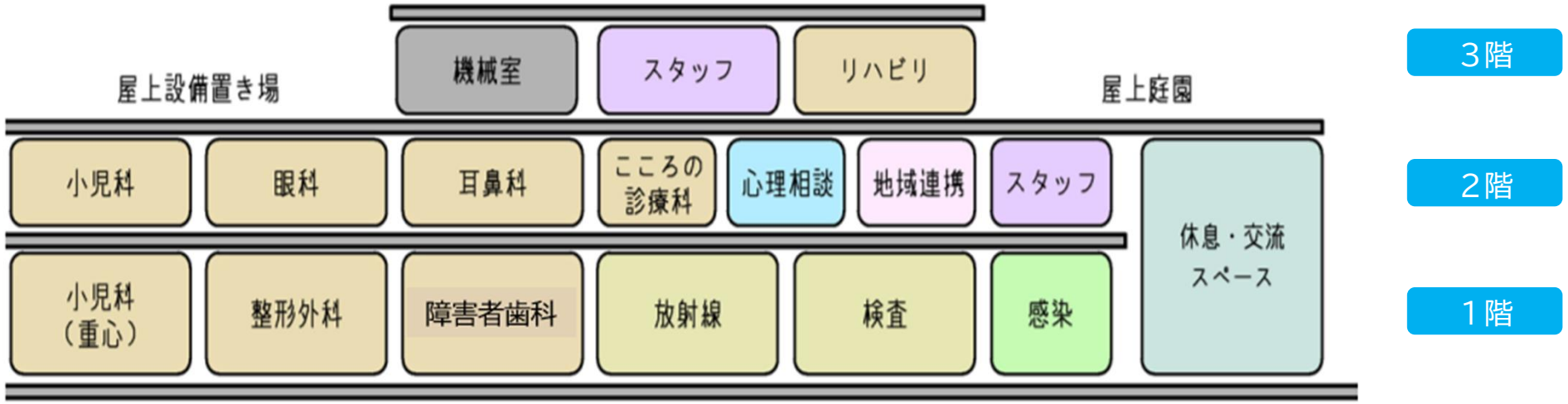
（3） 小児新棟の想定施設規模等

○ ３階建て

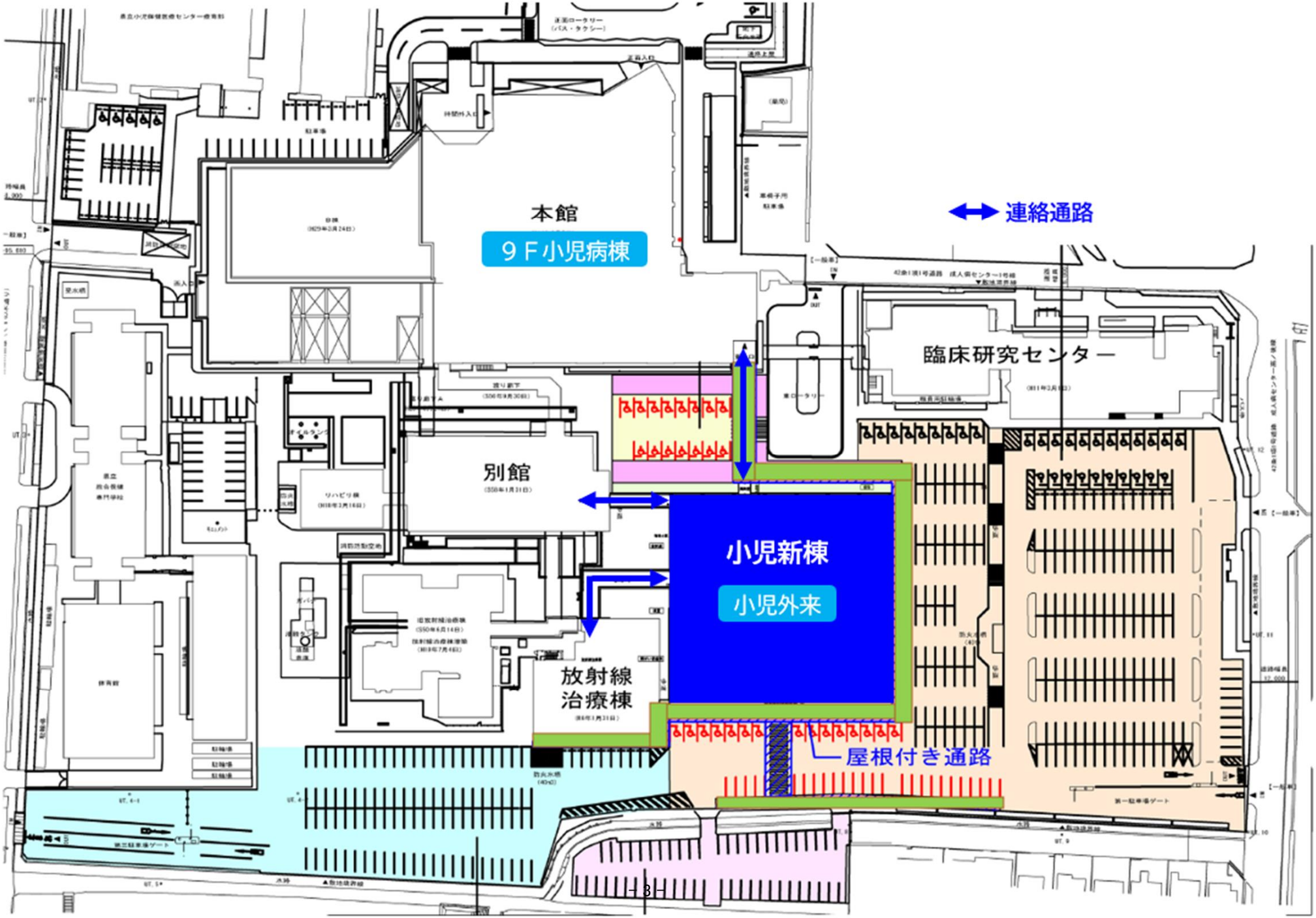
○ 延べ床面積7,000㎡を想定　※今後、設計を行う中でさらに精査等を行う。

・共用部（休息・交流スペース、廊下等）2,000㎡程度
・外来　3,500㎡程度
・心理相談・保健指導　200㎡程度
・検査　200㎡程度
・放射線　400㎡程度
・スタッフエリア　300㎡程度
・その他　400㎡程度

フロア構成



○　施設配置・動線等



2 スケジュール


小児新棟建設着工までのスケジュール(案)
年月
2026年(令和8年)
2027年(令和9年)
2028年(令和10年)
令和8年度
令和9年度
令和10年度
9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9
小児新棟
基本工程
基本設計
実施設計(積算等含む)
入札・発注・着工
説明会
要望等の把握
説明
院内調整
小児新棟建設会議
小児新棟WG
各部門ヒアリング
設計会議
※会議等開催時期および回数は目安
小児病棟
基本工程
実施設計
入札・発注
改修工事
供用開始

小児病棟移転改修に向けた進捗状況について

1　小児病棟の内装のデザインについて

子どもたちが安心して過ごせる、柔らかさや温かみを感じられる空間の実現に向け、成安造形大学の学生と総合病院の医療スタッフとの連携により、コンセプトづくりからデザインの検討まで共同で取り組むプロジェクトを実施している。

現在、医療スタッフと学生とのプロジェクトチーム会議を 2 回行い、院内の視察やブレインストーミングをはじめ、コンセプトづくりに向け意見交換などを行っている。

主に食堂、プレイルーム、リハビリ室、エレベーターホールの壁紙等を中心にデザインを行う予定。





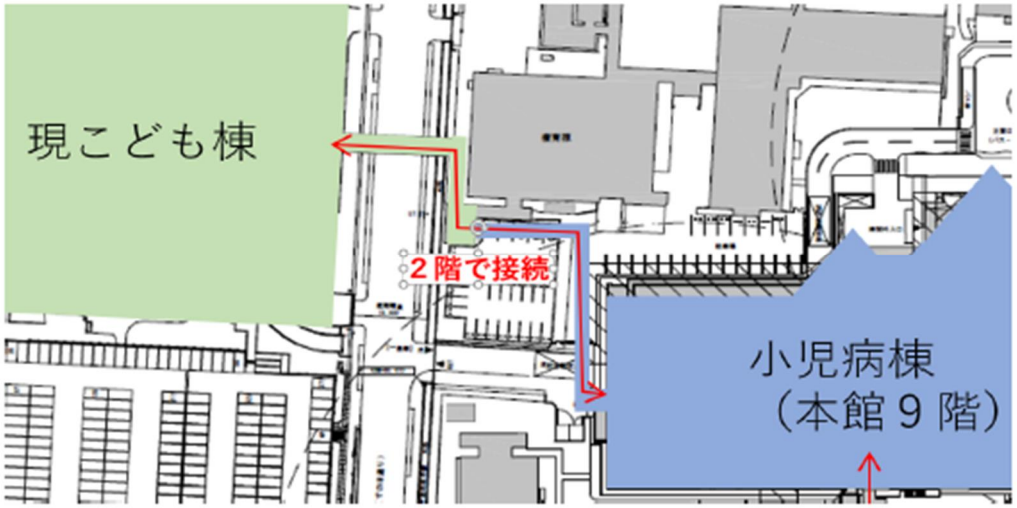
視察の様子（こども棟、本館９階病棟）

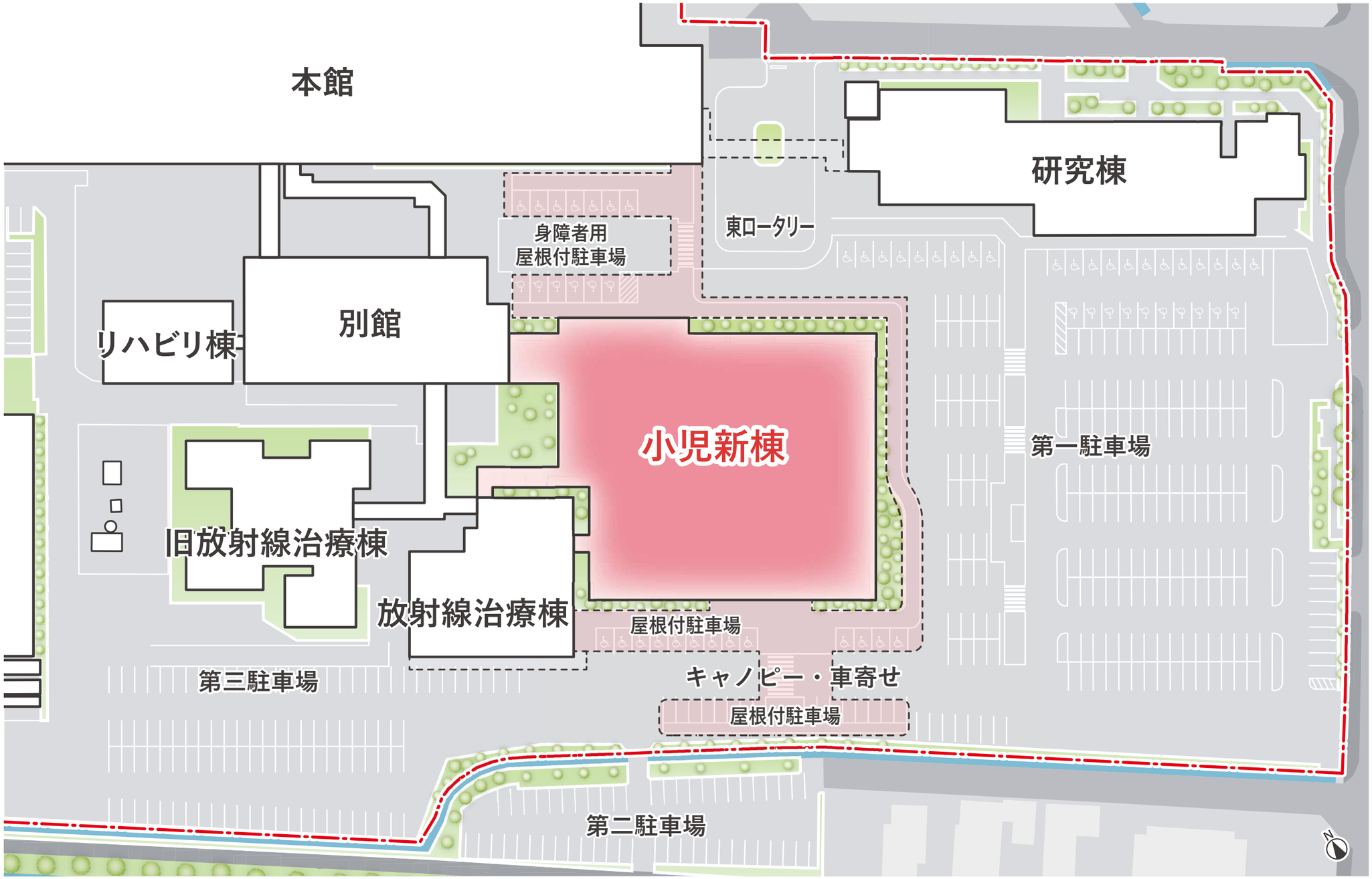


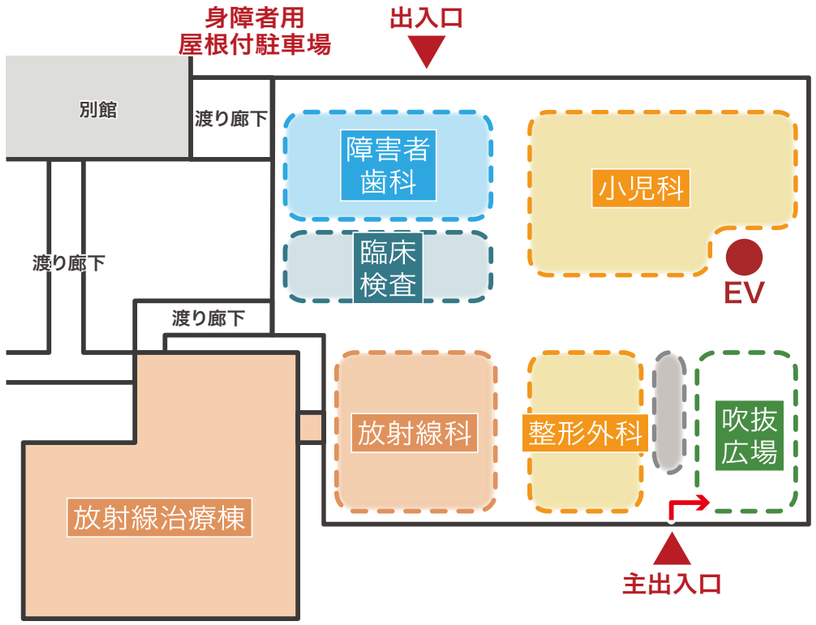
会議の様子

2　本館と療育センターを結ぶ連絡橋について（守山養護学校への通学路）

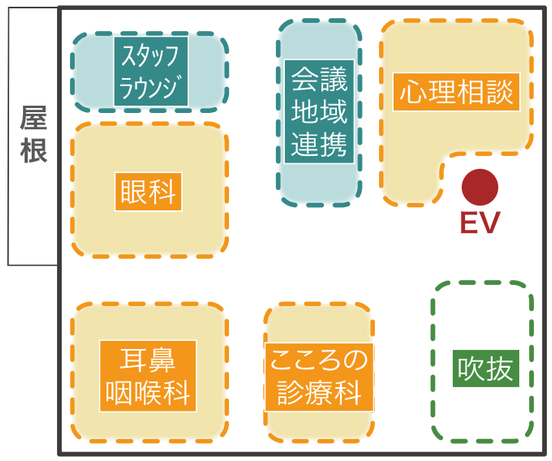
現在、本館 2 階と療育センターのエレベーター棟 2 階を結ぶ閉鎖型（屋根、壁に覆われている）の連絡橋の実施設計を行っているところ。夏季・冬季に備えて空調を設置予定。



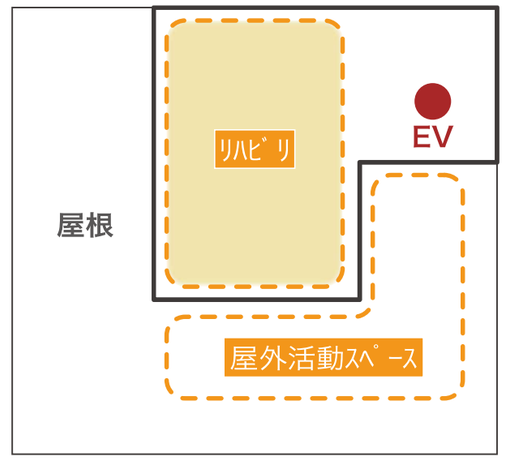

本館
研究棟
身障者用
屋根付駐車場
東ロータリー
別館
リハビリ棟
小児新棟
第一駐車場
旧放射線治療棟
放射線治療棟
屋根付駐車場
第三駐車場
キャノピー・車寄せ
屋根付駐車場
第二駐車場
N


身障者用
屋根付駐車場
出入口
別館
渡り廊下
渡り廊下
渡り廊下
障害者
歯科
小児科
臨床
検査
EV
放射線科
整形外科
吹抜
広場
放射線治療棟
主出入口

1F


屋
根
スタッフ
ラウンジ
会議
地域
連携
心理相談
眼科
EV
耳鼻
咽喉科
こころの
診療科
吹抜

2F

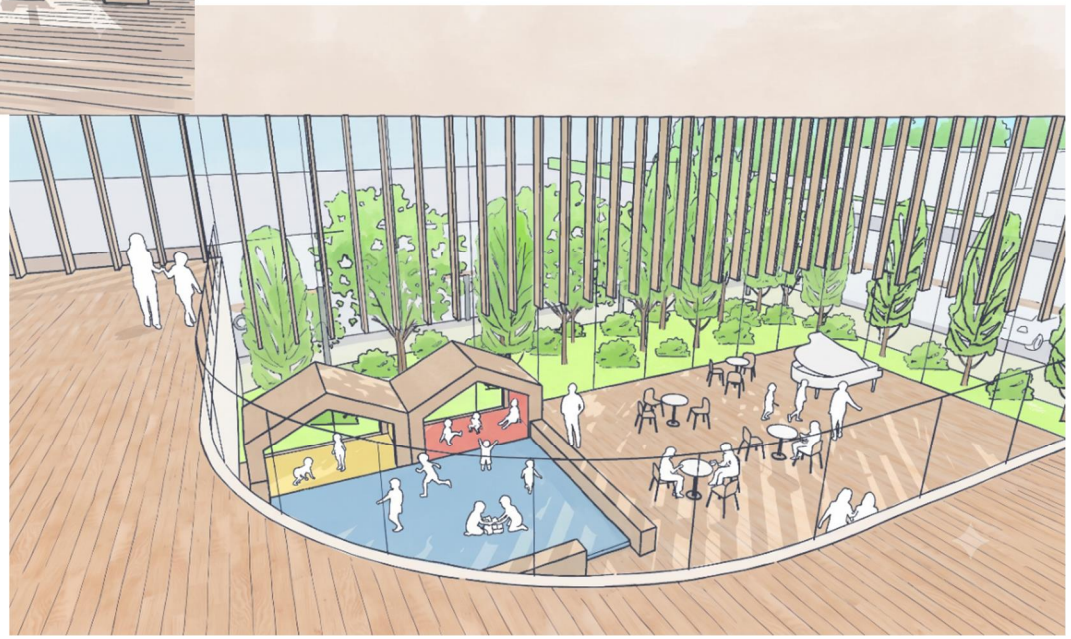

屋根
リハビリ
EV
屋外活動スペース

3F

イメージパース

交流スペース





イメージパース

屋上庭園

